

# 新山協ニュース

△ 発行者 井出秀雄 △ 発行所 新潟県山岳協会  
〒940 長岡市学校町3-11-7 藤井 信方 TEL 0258-32-4835

## 第18回北信越国体山岳競技会 少年女子（三条東）総合二位

国体委員長 森 庄 一

7月25日～27日・福井県大野市を中心会場として開催された第18回北信越国体山岳競技会は、迫り来る台風第9号を気にしつつも選手団の熱戦が展開された。  
26日午前は縦走競技。個人2名の合算タイムによって競技。本県チームは体力不足から三位以内に入れず。午後からは成年のクライミング競技。個人2名の合算到達高度で競技。午前の縦走で体力消耗し、実力発揮できず。27日は踏査競技。台風で競技開始を30分遅らす。少年女子は合宿の成果を遺憾なく発揮し、定点得点が高く二位に食い込んだ。



総合成績では少年女子が二位に食い込んだものの体力差（縦走競技で顕著）で大阪国体の代表権は得られなかった。  
選手・監督・競技役員及び応援の皆さんお疲れ様でした。

参加者

役員 四名  
審判団 四名  
選手・監督・補欠 一五名  
応援団 五名  
視察団（糸魚川市） 四名  
総勢 三二名

### 第18回北信越国体山岳競技成績(技粋)

種別	県別	縦走競技		踏査競技			総合順位
		所要時間 (時:分:秒)	順位	定点 得点	時間 点	順位	
少年男子	16新潟	2:11:10	4	64	13	OP	5
	17長野	1:50:00	1	80	20	1	1
	18富山	2:14:01	5	80	16	2	4
	19石川	1:59:03	3	64	17	3	2
	20福井	1:58:19	2	64	16	4	2
少年女子	16新潟	2:36:04	4	72	15	2	2
	17長野	2:19:10	1	72	20	1	1
	18富山	2:38:35	5	40	14	5	2
	19石川	2:28:55	3	64	14	3	2
	20福井	2:28:12	2	40	15	4	2

種別	県別	縦走競技	踏査競技		クライミ	総合順位
		所要時間 (時:分:秒)	定点 得点	時間 点	ング競技 到達高度	
成年女子	16新潟	4:35:00	24	0	11.3	5
	17長野	1:54:04	72	17	15.6	2
	18富山	2:16:18	80	20	13.0-	3
	19石川	2:40:42	64	13	10.4	4
	20福井	2:04:19	80	18	15.6+	1

# テーピング実技講習会を終えて

遭難対策委員会

谷 中 隆 明

遭難対策委員会の担当事業として、7月13日(日)に新潟市万代市民会館でテーピング実技講習会を開催しました。

この講習会は、昨年、三条市で講師を呼んで開催したところ、非常に実践的な内容であり参加者に好評であったことから、今年も開催地を変え、

昨年は出席しにくかった地域の会にも参加しやすいうようにと新潟市で実施したものです。

各山岳会では、日頃から事故防止あるいは事故を起こしてしまつた場合の対処法等の対策をとっていることと思いますが、数多い山行のなかには、事故を起こしてしまつておかないわけではありません。とりわけ、捻挫による事故は比較的多いと思われまふ。その場合、正しいテーピングの処置ができれば自力で下山することも可能なことが多いことから、遭難対策の一環として加盟山岳会の会員の方々にその知識と技術を習得していただくために実施しました。

講師は、昨年と同じソニー企業(株)アスレチック営業部の専門家伊藤 高氏にお願いしました。

参加者数は、昨年の2倍近い45名に達し、柏崎、小出、佐渡からの参加もあつて、関心の高さに主催者側では驚かされました。

講習では、まず、テーピングは捻挫、肉離れ、打撲等の怪我に有効であるが、骨折には全く無力であること、関節を曲げると痛い場合、痛くないところまでしか曲がらないとする技術であつた、怪我を治すという技術ではないという、テーピングの目的と限界についての話がありました。

その後、登山で起きやすい足首と膝の捻挫を対象に、関節の構造と損傷しやすい靭帯、及び損傷した靭帯の位置によるテーピングの方法について図解とモデル(参加者)を使ったテーピングの実演を交えた具体的でわかりやすい丁寧な説明があり、それをもとに

参加者が2人一組になつて実際にやってみました。

捻挫は、登山中に自分自身で起こすかもしれないばかりでなく、同行者が起こす場合もあり、いずれにしても時と場合によっては重大なことになるかねません。それだけに今回と昨年この講習会に参加された方々は、是非、所属の山岳会の会合等のなかで、テーピングについて伝達の講習をされ、より広くこの技術と知識が普及するよう努めていただければと願っています。ただ、頻繁に使う技術ではありませんので、一時期おぼえていてもすぐ忘れてしまうのが普通だろうと思ひます。幸いこの講習会では講師から豊富な資料が配付されておりますので、例えばそれらの中から必要な解説図の部分だけ抜き出しは、会員がカードにしてザックに忍ばせておくようにするなど工夫をしてみるのも一つの方法かと思ひます。

講習会の実施に当たり、遭難対策委員会以外の方からもご協力を得ましたことを感謝申し上げます。



## お知らせ

第36回全日本登山体育大会

期日 平成9年11月1日(土) ~ 11月3日(月)

会場 岡山県蒜山山群

テーマ 「自然と語ろう蒜山山群で」

山岳レスキュー講習会(夏山)

期日 平成9年9月6日(土) ~ 9月7日(日)

会場 滋賀県立 比良山岳センター

中高年登山教室

期日 平成9年9月6日(土) ~ 9月7日(日)

会場 黒姫山(信濃)

目的 遭難防止対策

夏山情報

北アルプス方面は例年より残雪が少なく、登山道も比較的安定しているとのこと。転落・スリップ・落石に注意。マナーを守り楽しい登山を



## 第18回北信越国体に参加して

三条東高等学校登山部顧問

渡邊 正之

福井県大野市で開催された北信越国体は、ちょうど台風9号とかちあつて天候を気にしながら行われました。

7月26日、最初の競技種目縦走は、どんよりと曇ってそれ程暑さを感じない、望ましいコンディションのなかで始まった。勝原スキー場の駐車場、ロッジ銀嶺荘の脇がスタート地点です。前日の監督会議で新潟県の少年女子は、開いた残りくじが1コースです。

コースは全部で5コース。各県2名の選手が縦に二人ずつ並びます。ルール改正により、縦走競技が以前のやり方よりも個人種目に近づいたのだから、5県の10人が横一線に並んでスタートすべきだという意見もありました。確かに最もです。スタート地点を駐車場の下に下げるなり、逆に、前にもって行って少し傾斜のあるところにすれば、10人の同時スタートは可能だったでしょう。舗装の切れ目で、平らなところというところで、

5コースになったと解釈しています。

成年男子、少年男子、成年女子、少年女子の順でスタートしました。成年男子の出発が7時10分。種別毎に20分間隔でしたから、少年女子は8時10分スタート。成年男子が秒読みゼロで振られた赤旗と同時に走り出したのには、驚きの声があがりました。少年男子は間違いなく走るであろうが、成年男子は、午後からのクライミングもあることだし、そうむきにならないであろうと予想していました。

成年女子も2名が、最初から飛ばしています。それに比べて少年女子のスタートは、かなりゆっくりしたものでした。負荷重量は、男子13kg、女子10kgです。砂袋を入れているのか、それとも鉄板なのか厚みのないザックを担いでいる選手もいました。スタート地点の標高が三三〇mタイムを競う特区間ゴールの荒島岳しゃくなげ平が一

二〇〇m、スタートからリフトの終点までと、ゴール直前が傾斜のきつい登りになる。それ以外の登山道も多少勾配が緩い程度で登り続く。ゴールした選手には、1から38の数字のついたビブスが渡される。

ゴールの中ノ出(なかんでの)林道で見えていたら、他県の少年女子で24番をつけた選手がいた。成年女子を追い抜いて来たというわけか。新潟県は、30番と37番であった。

30番は少年女子で4番目のゴールになる。ふたりの合計タイムにより、新潟県は4位。1位は長野県であった。

7月27日、前夜からの暴風雨がますます勢いを強めるなかで、踏査競技が開始された。一時、沢に通る部分をカットした短縮コースも検討されたらしい。6時30分の開始式直前になって、すべての日程を30分遅らせる連絡があった。宿舎の奥越青少年自然の家にいたときこの連絡があれば、30分ゆとりがあったものを。4時起床、4時30分朝食のパンと昼食のおにぎりを指定された場所に取りに行く。この日は、紙パックの牛乳が少し

## カムチャツカの高山植物 ③

むささび会 加藤 明文

## チシマルリソウ (ムラサキ科)

分布：不明 (日本には無い)



高さ20cm内外で日本産エゾリソウ(大雪十勝連峰、夕張岳、日高連峰)にまったく同じ種であるが、花は大きく倍はあり色も紅が入り美しい(日本産の母種と言われる植物ではないだろうか)。

トルバチョク山の低木森林限界附近(モーターチュエルダック)はヘリで運ばれ降ろされた所で、ここから上部は火山灰と岩礫の地となる。したがって最後の草地となる。ここは想像を越える蚊の大群が居り、ゆっくり花との対話は出来なかった。(写真の不出来を蚊のせいに来る)

花の色：濃紫色に所々紅紫色がまじる(日本産は青紫色)

遅れて届き、体育館に2度足を運んだ。

前日と同じく、成年男子よりスタート。各チーム3分間隔で、少年女子の出発は8時39分であった。雨足は我慢できない程ではないが、風が猛烈に強い。何人かが帽子を飛ばされて、それを捕まえるのに大騒ぎしている。選手が、配布された地図を吹き飛ばされはしないかと、心配になった。指定時間は一二〇分、定点の数は10個。黄色のプラスチック板に、1から10まで数字が書かれている。競技コースの中に、オリエンテーリングのポストが何カ所も建っている、それと区別しやすいようにと配慮したとか。競技終了後選手に聞いたら、最初の定点の数字は6という返事が返ってきた。

成年男子で最も早くゴールしたチームは、少年女子が全チームスタートし終わると、すぐに戻ってきた。73分ばかりで、登り下りとも走って来たらしい。少年女子は、1チームのみ早くゴールに入り、他4チームは、指定時間を割合有効に使ってゴールした。スタート・ゴール地点で待

つ監督や応援団は、雨にぬれるだけでなく、砂混じりの風が顔に当たって痛い。足をしっかりと踏ん張っていないと、からだは吹き飛ばされてしまう。こうも雨傘は、開く間もなく骨が折れてしまった。午後1時からの閉会式前に、会場の体育館に成績が張り出された。それを見ると、少年女子に総合2位が3チームもあるではないか。新潟県は、踏査競技2位の結果が効いて、総合2位に浮上した。選手はもちろん大喜び。昨晚の意気消沈がうそのようであった。2年まえの三条東高校選手と比較すると、何よりも第一にやる気があった。2年前は選手のなり手がなく、3年生が2年生に何とか押しつけようとする姿勢ばかりが目立っていた。2番目に、自分達の体力不足を知っていて、踏査競技を大切に扱った。3番目としては、日程的に苦しい6月中旬、森委員長に2つの競技コースを案内してもらったことをあげたい。大会まえの22日から福井県に入ったが、毎日夕立にやられ、思うようにコースを回れないにもかかわらず、一定の成果を出す事が出来た。

平田副会長、井出理事長はじめ、審判を務めたり、応援に来ていただいた新潟県山岳協会の方々には厚くお礼を申し上げます。



### 50周年記念山行

期 日 平成9年10月18日(土)  
10月19日(日)

会 場 蒜場山

協会創立50周年記念山行に相応しく、盛秋の飯豊連邦の展望を堪能してもらいたく、加治川ダムからのルートを整備して、多数の参加を待っています。

#### 平成9年度9・10月専門委員会行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
9. 6~7	第7回中高年登山教室	長野県 黒姫山	中高年登山
9.18~19	日山協中高年安全登山講習会	石川県	中高年登山
9.	競技水準向上ヒアリング	新潟県庁	国体
9.	県山協海外登山研究会	中越地区	海外登山
9.10. 1	新潟県遭難対策競技会	新潟県庁	遭難対策
9.10.18~19	50周年記念山行「蒜場山」	新潟県庁	50周年記念事業
9.10.25~26	第25回自然保護指導員研修会	栃尾市	自然保護
9.10	第52回大阪国体結団式	新潟県庁	国体

#### 日山協・文部省登山研修所等9・10月行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
9. 9.18-19	日山協中高年安全登山講習会	石川県	日山協
9.10.18-19	日山協全国自然保護委員会総会	青森県	日山協
9.10.24-29	第52回大阪国体	大阪府	日山協

## 登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

## 大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

## 登山・アウトドアの専門店

## ICI 石井スポーツ 新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)